

令和6年度第1回鹿児島市交通事業経営審議会

日時	令和6年度第1回鹿児島市交通事業経営審議会	会場	交通局3階 第2会議室
出席者	古川会長、小山委員（副会長）、松枝委員、江口委員、上仮屋委員、奈良迫委員、下赤所委員（7名）		
市出席者	交通事業管理者、交通局次長（総合企画課長）、総務課長、経営課長、電車事業課長、バス事業課長		
会次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委員及び事務局紹介 3 交通局長の挨拶 4 報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和6年度鹿児島市交通事業特別会計予算の概要について (2) 鹿児島市交通事業経営計画の実施状況について（令和5年度実績） (3) 令和5年度市電・市バス乗車実績等について (4) 事故等調査委員会の開催について (5) 令和5年11月以降の主なトピックスについて (6) 令和5年度包括外部監査の結果報告について 5 閉会 		

会次第 4-(1) 令和6年度鹿児島市交通事業特別会計予算の概要について

発言者等	協議事項・質疑・回答等
委員	<p>厳しい経営状況であると理解したが、今後の見通しを教えてください。また、新紙幣対応に係る改修作業の予算計上の状況はどうなっているか。</p>
事務局	<p>当経営計画に基づいて事業を実施しているところであるが、物価高騰、人件費等の費用の増加があり、（収益についてはコロナからの回復、インバウンド等の回復により改善されているが、）大変厳しい状況が今後とも続くと見込んでいる。</p> <p>経営計画の中では、現段階で令和8年度に電車とバスの収支均衡を図るという予定で計画しているが、物価高騰、人件費の増により計画の見直しが必要な時期が早まる可能性があると考えます。</p> <p>新紙幣の対応については、市電・市バスの運賃箱等は令和5年度中に完了しており、令和6年度においては、窓口の積増機等に関して、6月中に完了する予定である。</p>
委員	<p>新紙幣の対応については、予算計上されている中であるとのことだが、補助金等はあるか。</p>
事務局	<p>補助金等は特になく、昨年度計上した予算で対応している。</p>
委員	<p>（令和6年度新規事業の）バス運行データ分析事業について、市電の方は検討しないのか。また、どういうデータを収集するのか。</p>
事務局	<p>バス運行データ分析事業という事業名だが、バスと電車を同時に行う予定である。</p> <p>AIを活用し、バスの路線・ダイヤの改正について、根拠に基づいた編成を実施できるようにデータを収集するものである。</p>
委員	<p>利用者の利便性向上に資するものになればよいと思う。また、オープンデータ化については市民に活用できるものになれば可能性が広がると思う。</p>
委員	<p>収支をみると、（交通局全体では）電車の収益でバスの分を補填している状況で、今後もバスの状況は厳しいものになると思う。団地の人口も減少しており、バス利用は増えないと思っている。例えば、電車の料金を一律料金ではなく、一定区間で割増料金に</p>

発言者等	協議事項・質疑・回答等
	するといったシミュレーションはできないか。デジタル化等世の中の仕組みが変わる中では投資が必要になってくるので、収支均衡でなく収入を増やす取組をできないか。
事務局	電車の料金が安いとのご意見もいただくが、料金を変えらるとなると国の認可が必要になる。収支均衡ではなく収入を増やすことで市民に還元するのご意見であると考え、収益が増える方向で検討をさせていただきたいと考える。ただ、デジタル化等の対応については、料金の区間制よりは均一制の方が技術的に容易であるということも事実としてある。

会次第 4-(2) 鹿児島市交通事業経営計画の実施状況について（令和5年度実績）

発言者等	協議事項・質疑・回答等
委員	令和5年度の決算の見込みはどうか。
事務局	令和5年度の決算見込みについては、予算と比較して収益は増収、費用は不用額が発生している。コロナ前の令和元年度と比較すると、ほぼ回復した状況となっている。
委員	企業債の残高としては令和5年度末の状況は。
事務局	利息を含め、5年度末で約38億円である。
委員	企業債等の借入が償還金よりも多い状況であるので、なかなか厳しい経営状況と考える。
事務局	ご認識のとおり。
委員	九州Ma a Sへの参画はどうか。
事務局	令和6年4月1日に協議会が設立されているので、今年度の補正予算で加入負担金を計上しており、参画する予定である。
委員	電車において、重大事故が1件、インシデントが1件とのことだが、非常に重く受け止めなければいけないと考えている。運転士の能力に頼るだけでなく、設備投資が必要となるのではないか。
事務局	事故については、非常に遺憾に思っていると同時に、市民、利用者の方へご迷惑をおかけして大変申し訳ないと思っている。交通局としても、注意喚起、研修、点呼での呼びかけを行っており、設備面の整備も必要と考え、検討を進めている。
委員	バスの路線について、人件費の増、運転手不足の中で努力をされていると思うが、委託している路線の引き戻しへの対応はどうなっているか。
事務局	路線の委託分について、運転士不足により双方協議の上で、利用者、市民の方々に迷惑がかからないように、1路線の引き戻しを実施している。
委員	今後の運転士の確保に向けて、若年層がバス・電車に触れる機会が必要と思うが、体験イベントの実施状況は。
事務局	電車においては、令和6年度は6月9日にかごでんツアーを実施する。また、7月と10月に運転体験を実施予定である。バスにおいては、9月20日の「バスの日」をPRの場とするように検討中である。
委員	バスのダイヤについて、地域コミュニティ協議会の中でバスの便数が減って困ると意見があったが、地域の中から各事業者へ改善を要請することも必要であると感じた。

会次第 4-(3) 令和5年度市電・市バス乗車実績等について

発言者等	協議事項・質疑・回答等
	(質疑なし)

会次第 4-(4) 事故等調査委員会の開催について

発言者等	協議事項・質疑・回答等
	(質疑なし)

会次第 4-(5) 令和 5 年 1 1 月以降の主なトピックスについて

発言者等	協議事項・質疑・回答等
委員	クレジットカード決済のブランド拡充について、中国からの観光客を考慮すると、銀聯の導入は評価できると考える。国内の旅行者に比べ特に外国人はクレジットカードを利用するので、サービスが充実するのは良いことだと思う。
委員	国道 3 号線を走行しているバスが車線変更をできない状況を見たことがある。運転中のドライバー向けに、啓発のポスター等を作成すれば一般の車に対しての周知が広がると考えているが、どうか。
事務局	バスがバス停から発車後に右折レーンへ車線変更することが難しい状況があることは認識している。電車の方でも右折事故、接触事故等があったりするので、併せて啓発の方法を検討したいと考えている。
委員	市電車両内に掲示されているフォトコンテストの入賞作品をよく見ている。子供たちの作品を見て楽しませてもらっているので、今後も継続していただきたい。
委員	クレジットカードタッチ決済について、市電の電停で乗車前に自分のカードが使えるのかと戸惑っているお客様が見受けられた。初めて利用される方が乗ったときにわかる方法はないか。
事務局	車載機器に掲示をしたり、電停にポスターを張ったりしているが、なかなか周知が行き届かない面もある。局ホームページでも周知広報しているが、今後とも様々な方法で周知を図ってまいりたい。

会次第 4-(6) 令和 5 年度包括外部監査の結果報告について

発言者等	協議事項・質疑・回答等
委員	全体を確認した。バスの運賃改定等による値上げの余波は感じられないが、人件費の増、燃料費の高騰等により、せっかく実施した運賃改定の効果が吸収されてしまっている。監査の中で指摘があるように、どのように収支均衡を目指していくのか、収益を上げるためにどのような取組を行っていくのか、具体的にお示しいただきたい。
事務局	人件費の増、物価高騰といった状況が続くと見込んでおり、経営状況は非常に厳しい状況である。バス路線の委託を継続し、自動車運送事業が維持できるようにしていきたい。バス運行データ分析については、職員の経験に基づく路線・ダイヤの改正だけでなく、データに基づいた効率のよい改正を実施することで、増収を図っていきたいと考えている。また、検討段階ではあるが、バスと電車を活用し乗継文化というものも作っていききたい。
委員	厳しい経営状況を公開して、市民、利用者に周知していくことが必要になるのではないか。
事務局	市民、利用者の方への周知については、今後検討してまいりたい。

その他

発言者等	協議事項・質疑・回答等
委員	市電の電停に掲示されている「ヘルプマーク」の掲示物が白地に黄色で表記がされており、見えにくくなっていた。視覚・色覚障害の方に配慮した表記をするべきではないか。掲示物の点検をお願いしたい。
事務局	状況を確認させていただき、対応させていただく。
委員	市電で、5～6人の外国人観光客に運転士が対応しており、頼もしく思った。個人の努力の面もあると思うが、今後も期待したい。
事務局	運転士の対応については、利用者の方からお声をいただくことがあるが、その都度運転士への周知を図っており、また乗務員への研修等は実施しており改善すべきところは改善してまいりたい。